

めざす児童生徒像

チャ【れん】ジ+（プラス）

【だい】大好き

【じ】自分達で

チャレンジする子、粘り強く続ける子

大好きを増やす子（自分が 仲間が 学校が ふるさとが）

自分達の力で、自分達をより良くしようとする子

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目		数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
					教員	児童生徒	保護者			
（学校重点項目） 学校重点項目	自己肯定感の向上	①～③の平均が90％以上	①	粘り強く挑戦している						
			②	大好きを増やそうとしている						
			③	自分で判断行動し、自分をよりよくしようとしている						
			集計							

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目					達成状況の分析	改善策
	業務の改善 働き方	①②の平均が90％以上	①	50時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。					
			②	学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。					

	項目		目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目		数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
						教員	児童生徒	保護者			
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	①②の肯定的回答の割合が 中間・・・80% 年度末・・・90%	①	研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、具体的な取組を共通実践している。						
				②	授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
				集計							
		「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①②⑤の児童生徒の肯定的回答の割合が、 中間・・・75% 年度末・・・90% ⑥⑦の教師の肯定的回答の割合が、 中間・・・75% 年度末・・・90%	①	児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				②	児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。						
				③	児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④	児童生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。						
				⑤	児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と考えを共有したり比べたりすることができている。						
				⑥	教師は、児童が主体的に学習に取り組めるよう、単元構想を工夫している。（単元デザインシートの活用）						
				⑦	教師は、児童のつまずきや思考の流れを捉え、発問や手立てに繋げている。						
				集計							
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③④の教師の肯定的回答の割合が、 中間・・・80% 年度末・・・90%	①	指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
				②	児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
				③	全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
				④	校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）						
				集計							
		学習方法	①②の児童の肯定的回答の割合が、 中間・・・80% 年度末・・・90%	①	児童生徒は、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。						
				②	児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、自分のペースで理解しながら学習を進めることができている。						
				集計							